

淀川区のみなさんに、お伝えしたいこと

～10年間に淀川区で発生した火災から見てきたこと～

(1) たばこによる火災

- ・発生場所は、「屋外」 < 「**屋内**」

なかでも、
一般住宅やマンションなど
住宅に関する場所が多いです

- ・原因や火災になった経過をみると、
「不適当な所に置く・捨てる」
「消火処置不十分」
「火源が転倒・落下する」
が多いです。

たばこを吸っているときも
吸い終わったあとも
適切に取り扱っていたら
火災発生を防止できます



寝たばこをやめましょう
吸い殻を水で完全に消火しましょう
吸い殻の周りに燃えやすいものを置かない
灰皿の吸い殻は適切に処理しましょう



(2) 放火

- ・「建物内放火」、「建物外放火」とともに**減少**しています。(10年前の75%減)

連続放火(疑い含む): 平成29年2件、平成30年2件、令和2年4件発生

建物内も、建物外も
燃えやすいものを
置かないようにすれば、
放火を防ぐことができます



(3) ガスこんろによる火災・天ぷら油による火災

・一般住宅やマンションなど**住宅**に関する場所や**飲食店舗**での発生が多いです。

・原因や火災になった経過をみると、
調理中であることを

「忘れていた」

「放置していた」

調理中に
その場を離れないで！



がとても多いです。

(4) 電気配線類による火災

・10年間で、ほぼ**横ばいの状態**で発生しています。

・原因や火災になった経過をみると、

「コンセントのプラグで、トラッキング現象が発生」

「電気配線が半断線になった」

「電化製品の配線コードを束ねて長時間使用」

「テーブルタップに過電流が流れた」

などがありました。



(5) 電気製品による火災

- ・10年間で、年々**増加**しています。
- ・特に、**リチウムイオン電池**によるものが増えています。

ほかにも**冷暖房機（エアコン）**、**その他の電気機器**があります。

- ・原因や火災になった経過をみると、
 - 「電気製品内部のリチウムイオン電池が強い衝撃を受けて発火」
 - 「電気製品内部のリチウムイオン電池を充電中に過充電となって発火」
 - 「電気製品の内部に虫が侵入し、基板上でトラッキング現象が発生して出火」
 - 「エアコン内部の基板上で、何らかの要因でトラッキング現象が発生して出火」などがありました。

リチウムイオン電池を含む電気製品を使用するときは
落としたりして衝撃を与えないようにしましょう
分解や改造して使用するの、やめましょう
一般ゴミなどと一緒に捨てないようにしましょう
非純正品のバッテリーの取扱いに注意しましょう
膨張、異音、異臭など異常を感じたら、使用はやめましょう



ご家庭から出されるリチウムイオン電池等の回収については、
環境局環境事業センターへの持ち込みによる受付回収と、
電話等の申し込みによる環境局職員の訪問回収があります。

詳しくは**環境局のホームページ**をご覧ください

※環境事業センターへの**持ち込み回収**については、こちら↓
[リチウムイオン電池等の回収について（環境局ホームページ）](#)

※電話等の申し込みで、**職員による訪問回収**については、こちら↓
[リチウムイオン電池等の訪問回収を開始します（環境局ホームページ）](#)

ごみ収集車両やごみ処理施設の中において、リチウムイオン電池等が
原因となる火災が増えています。
一般ゴミと一緒に捨てないことで、火災の発生を防ぎましょう。

